

す。

阿部勝子君 外山さん佐藤さん米山さん本当に御苦労さまです。会員増強は大変です。むずかしさを知りました。

淵岡茂君 社会奉仕委員会としてBOXに協力します。

佐藤弘志君 ボックスに協力

石川友意君 堀川さんのおとなりでしたので協力して!!

山崎勲君

堀川正幸君 ボックスに協力!

星野義男君 オンデマンド印刷工場設工しました。

委員会報告： プログラム委員会 早朝例会案内 平成15年8月19日（火）5：30集合

会場 本成寺 出欠表を回しますので、ご記入ください

卓 話： 「会員増強について」2560地区会員増強委員長 米山忠俊

本日は例年この8月恒例の会員増強・拡大月間ということで卓話の機会を頂きまして有難うございました。

新年度がスタートし貴クラブ、会員の皆様におかれましては新たな気持ちで新組織の中、クラブ運営、活動が始まり活発に動き出されておられる事と存じます。

原年度では会員増強が重点課題の一つであるという認識で増強委員会は会員増強プログラムの作成推進にと昨年末から原ガバナー事務所やクラブ奉仕各委員会と協議を続け又地区のクラブ、皆様からの会員実態調査のアンケートの協力を頂き参考にし会員増強の方針、活動計画を進めてきました。その内容等をさる5月24日の地区協議会の分科会、クラブ奉仕委員会に於いて行われ、地区の実態、会員増強のテーマ、活動方針、の発表説明があり会員増強の指針が示され報告されております。

又、さる7月5日に今年「第一回会員増強セミナー」が会場、長岡商工会議所において開催されました地区の各クラブの会員増強委員長さんや代理の方多数の出席で大変盛り上がり内容のある会員増強の勉強会が行われました。今日はそんな中で会員増強のお願いや、又私が率直に感じた事を聞いて頂ければと思います。

今、会員増強の大きな課題は「会員減少とその対応」です、会員数推移の状況を見ますと、ロータリーの全世界の会員数を申しますと、国際ロータリーでは1996年頃から、会員の減少が始まりました。120万3千余のピークから2000年には118万会員までに落ち込みましたが、すぐ2003年には1,221,342名まで回復し増員しております。ですが日本では会員減少の傾向があり1996年の129,875名がピークで、その後年々減少しています2003年4月には111,177名にまでに会員減少しています。当2560地区に於いても1996年の〔重田年度〕の2888名がピークで年々減少が続いき2003年4月には2,332名にまで会員減少しています。

このような状況化に於いて原ガバナー年度の一つの大きな問題は会員の減少傾向に歯止めがかかる事で、強く求められています。

そこで原年度2560地区の会員増強は「活力ある地区、クラブに」をテーマに次の4項目の方針プログラムを作成しました。

1、原年度2560地区の会員増強目標は2560名です

原年度各クラブの会員増強目標は純増5名と女性会員の2名増強です

2005年の国際ロータリー創立100年周年に会員150万人達成「グローバル・クエスト、ロータリーの全世界での探求」という会員増強のキャンペーンを理解、協調推進です

2、原年度会員増強のスローガン

「増強なくして活力なし、努力と行動で手を貸そう」

3、目標に向けての重点課題として

A、会員増強対策

- ①女性会員の増強
- ②若い会員の増強
- ③職業分類から見た増強
- ④増強お願い重点クラブ

B、退会防止対策

- ①入会あさい会員のフォロー等の考慮
- ②年配 {先輩} 会員への配慮と環境作り
- ③会員数の少ない弱小クラブへのてこ入れ
- ④前期末、後期末の退会による減少

4、会員増強の環境づくり

- ①AG、クラブ奉仕大委員長、クラブ会長の指導強化
- ②ロータリー情報委員会の協力
- ③ガバナー賞について
- ④ロータリークラブのPRを積極てきに地域で行う

会員増強に厳しい環境や事情がありますが、会員増強はロータリーの原点で活力の源であり、又何故増強かといえば……あらゆる組織は自然に任せていくと減退し衰退する自然の法則もある {死亡、病气退会} ので毎年補充が必要になってきます

以上述べましたが、実行は容易ではありません。熱意を持つ、楽しくやる仕組みが一番大切で、楽しいから、得るものがあるから、人は集います、ここからクラブが蘇ります。衆知を集めて楽しいクラブ作りで前進しましょう。

以上

「会員増強月間」： 会員増強委員長 外山晴一会員

今年度の会員増強委員長の外山です。8月が「会員増強月間」ということで今日、行事として入れて頂きました。今年度の会員増強委員会は米山忠俊会員が副委員長、中條耕二会員が委員ですが、実